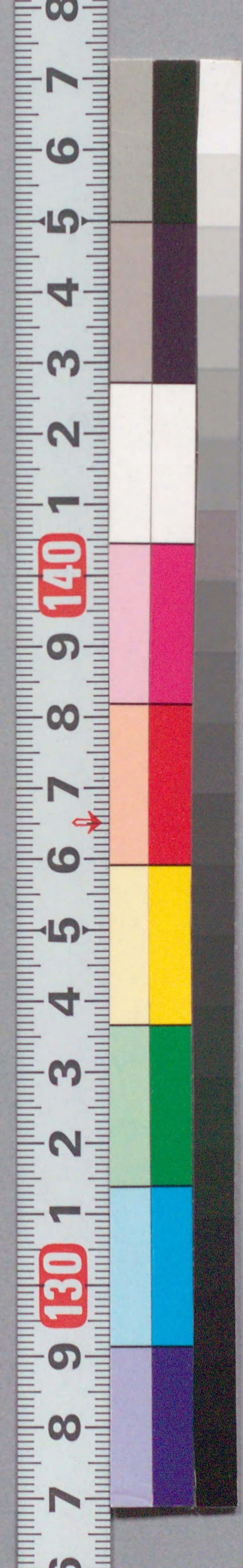


其句  
義經  
眞実情文様

207  
217



国立国会図書館 眞実情文様：3巻 207-217

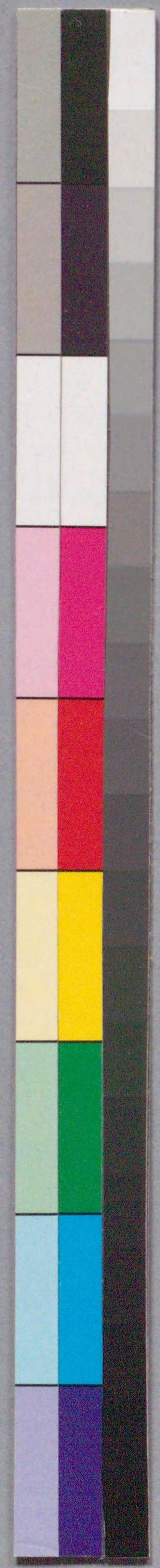
ガラス使用



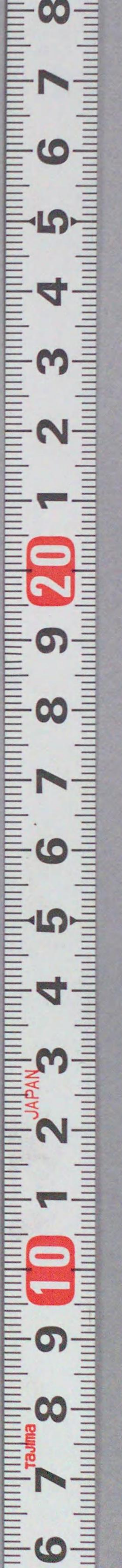
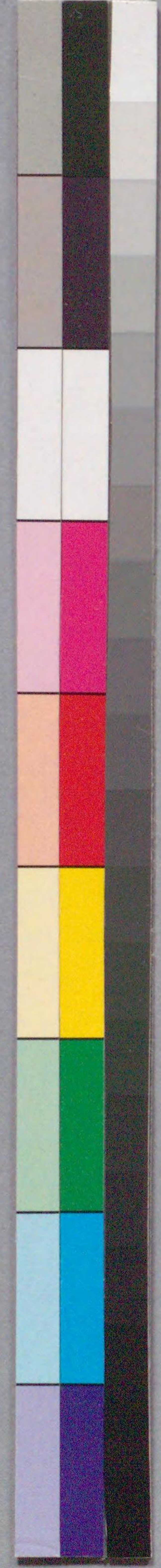
其句  
眞實情文桜  
京行  
魚の  
二冊

207  
217

寛政元







自叙  
 長歌四季二番叟の文言小田天下  
 情をばさるるをてあんでむき  
 針志といひぬ作者乃ソウちや  
 巻まて二部の通判との弊々お  
 けいごのつゝぬあゆも七の末  
 くらくさるる先よ云示

名物の山と入



八丁のちのちの男は  
 一のけのひまめをひま  
 びりうのこまへくいけ  
 とんんとくひまんでい  
 えるちうちのうら  
 びまありゆ又ちう  
 うわしいゆとこく  
 ひまひつけ男一人は女  
 二人をひまひひひひ  
 ちうちのちのちのち  
 いちうれなる男一人は女  
 人むまびりむゆむ  
 まびままのちとま  
 男のうが女のこり  
 泳くてこまゆゆひひ  
 それゆはまひひひひ



八丁のちのちの男は  
 一のけのひまめをひま  
 びりうのこまへくいけ  
 とんんとくひまんでい  
 えるちうちのうら  
 びまありゆ又ちう  
 うわしいゆとこく  
 ひまひつけ男一人は女  
 二人をひまひひひひ  
 ちうちのちのちのち  
 いちうれなる男一人は女  
 人むまびりむゆむ  
 まびままのちとま  
 男のうが女のこり  
 泳くてこまゆゆひひ  
 それゆはまひひひひ



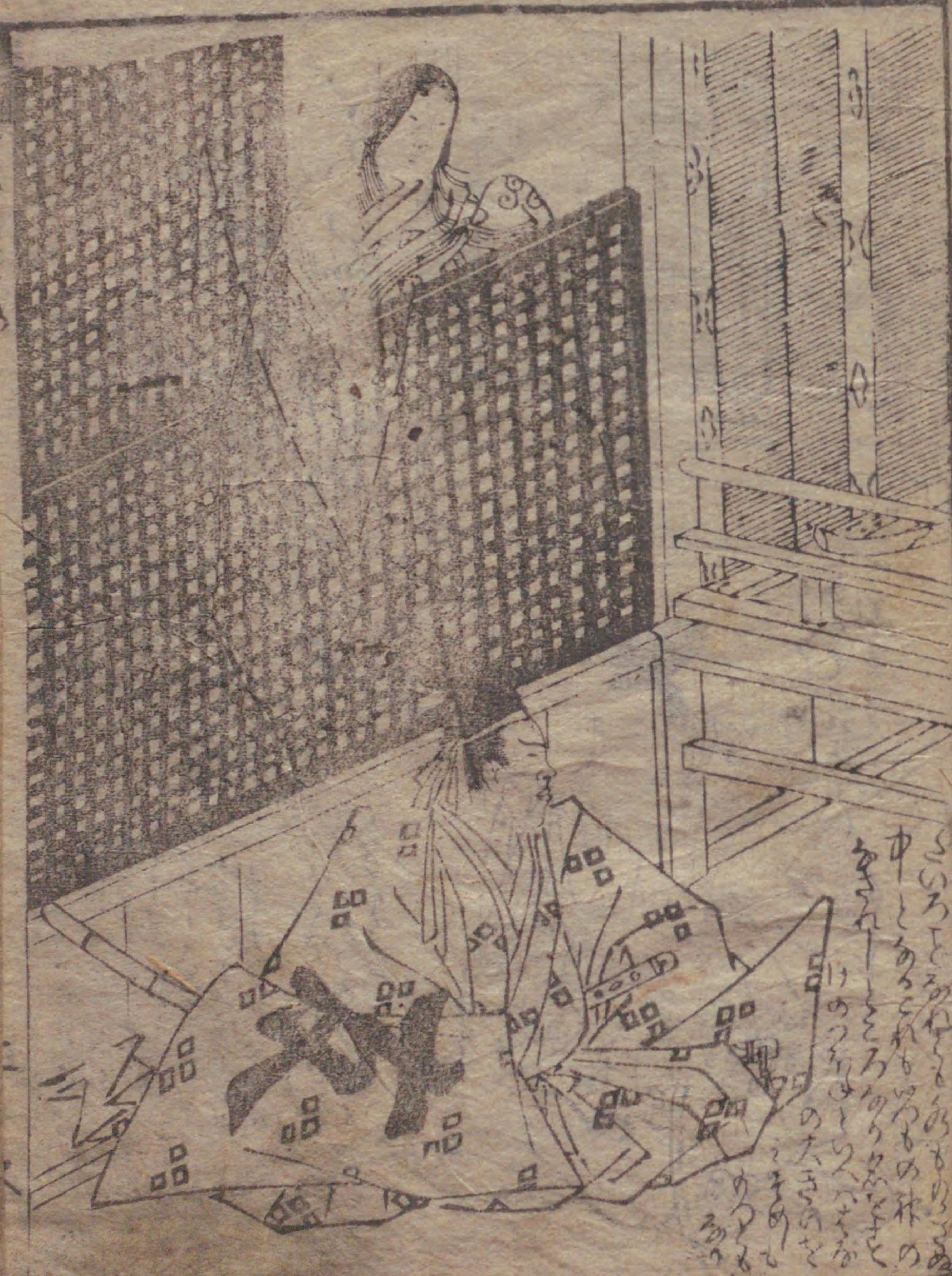
八丁のちのちの男は  
 一のけのひまめをひま  
 びりうのこまへくいけ  
 とんんとくひまんでい  
 えるちうちのうら  
 びまありゆ又ちう  
 うわしいゆとこく  
 ひまひつけ男一人は女  
 二人をひまひひひひ  
 ちうちのちのちのち  
 いちうれなる男一人は女  
 人むまびりむゆむ  
 まびままのちとま  
 男のうが女のこり  
 泳くてこまゆゆひひ  
 それゆはまひひひひ







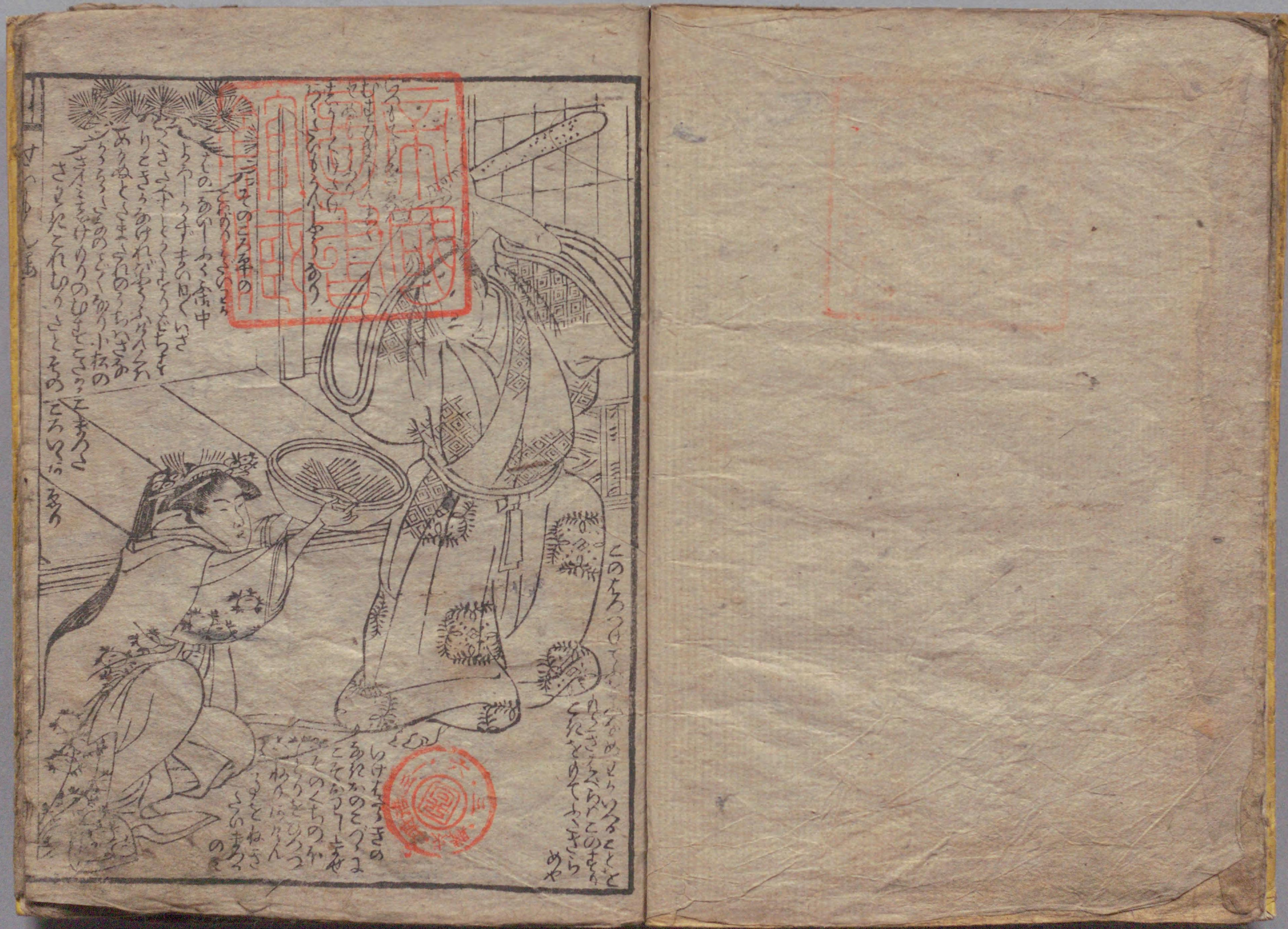




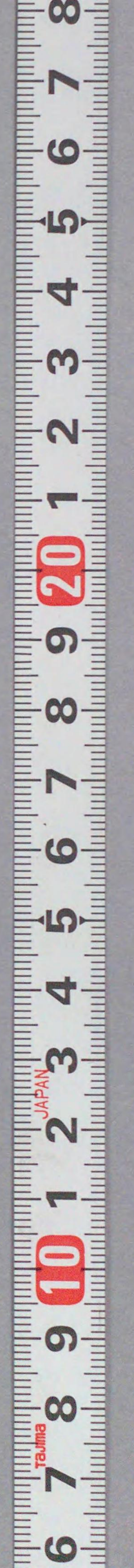




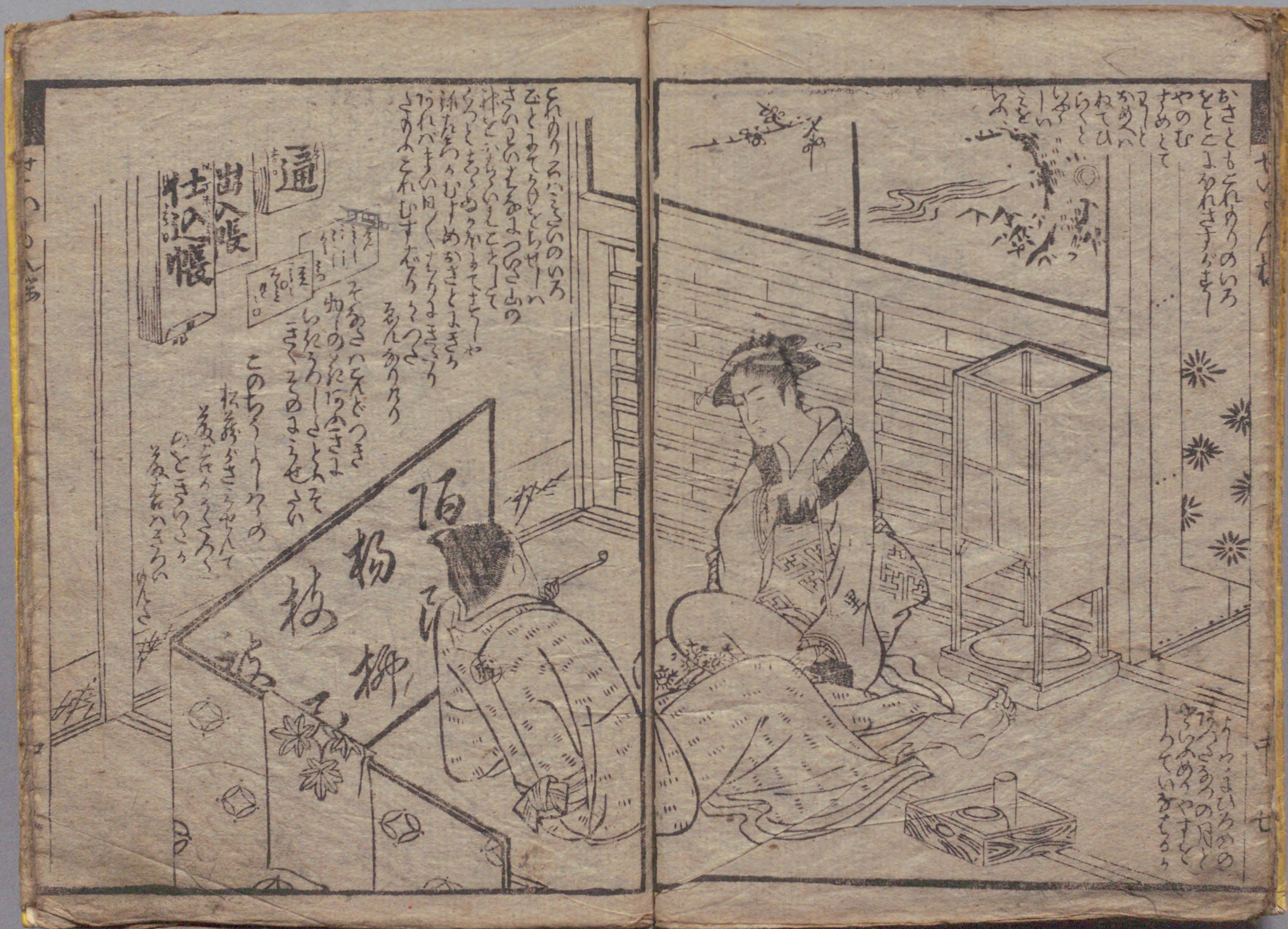












通  
出入帳

そのあつたつま  
物のたつたつま  
いれうりしとんそ  
まきそのようせ  
このちうりつめ  
松蔭がさうやんて  
まきをんそくろく  
のどまうりつ  
まきをんそくろく

百  
物  
柳  
枝

そのりる...  
とよて...  
そのりる...  
とよて...  
そのりる...  
とよて...

あさとも...  
とよて...  
あさとも...  
とよて...

あさとも...  
とよて...  
あさとも...  
とよて...

あさとも...  
とよて...  
あさとも...  
とよて...









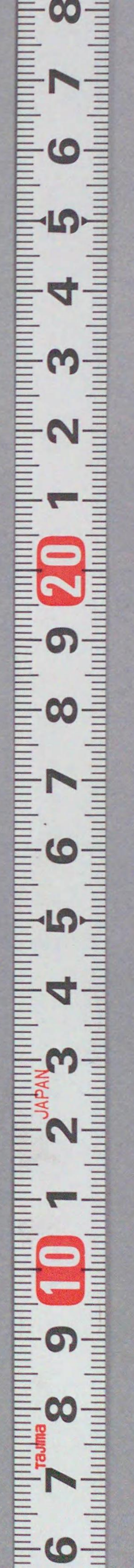








すいしん















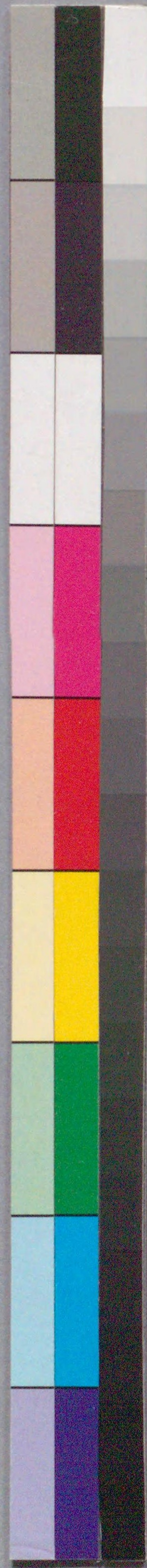


207  
特別  
217

Handwritten Japanese text in vertical columns, including a central illustration of a man in a kimono. The text is densely packed and covers most of the right page.



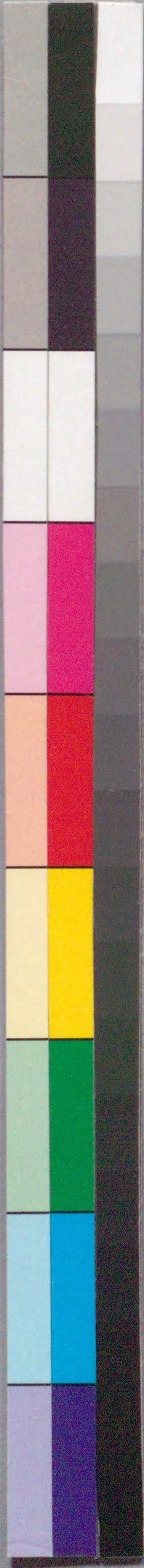




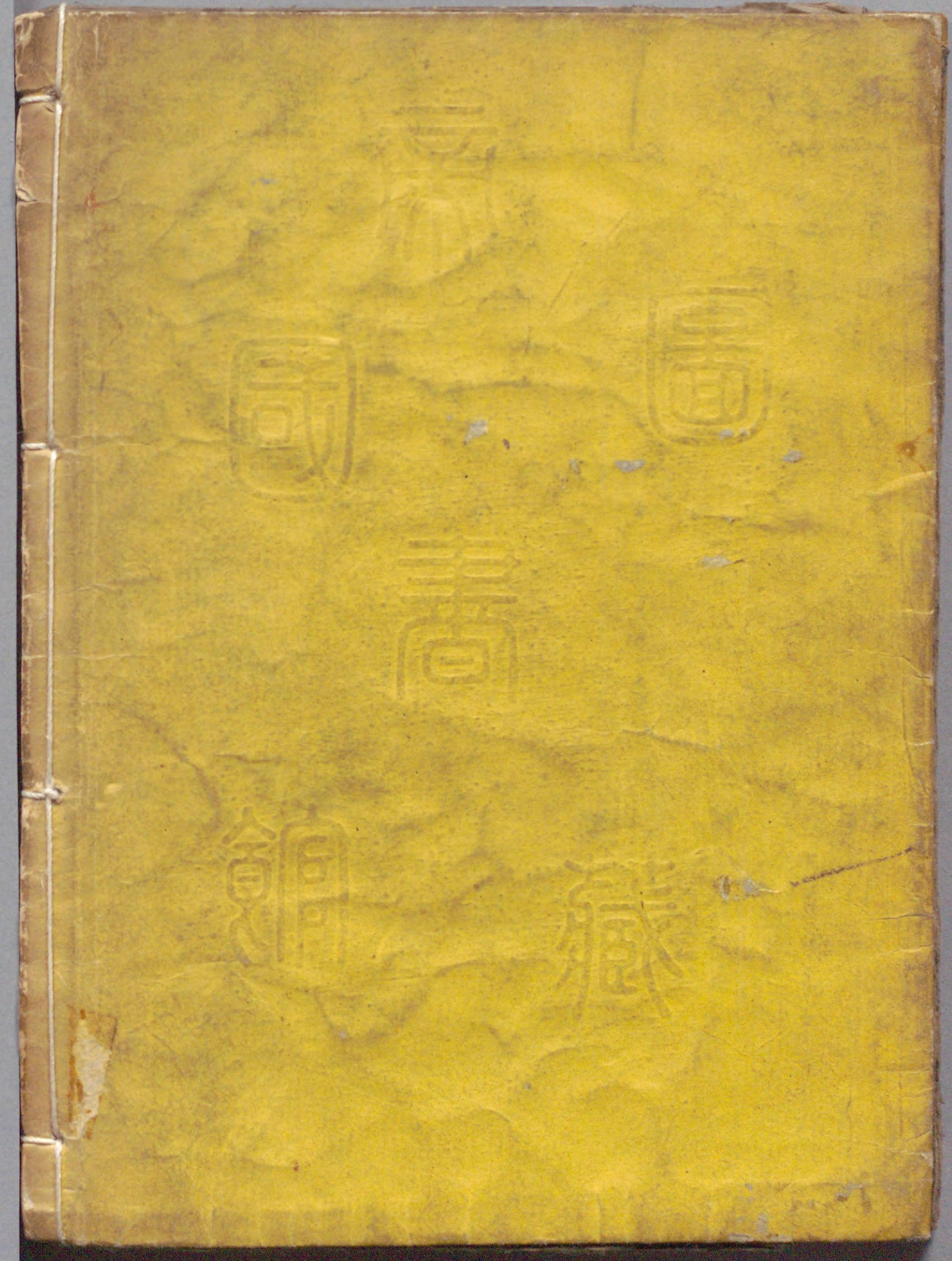
国立国会図書館 真実情文桜：3巻 207-217

ガラス使用





国立国会図書館 真実情文桜：3巻 207-217



ガラス使用

